

The 40th anniversary of SEKISUI MUSEUM

石水博物館

40周年記念

所蔵名品展 II

—川喜田家

コレクション編—

2015年

7.17 金 ▶ 8.23 日

- ◆開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)
- ◆休館日／毎週月曜日
(但し祝日の場合は翌日:7月20日(月・祝)は開館、翌21日(火)は休館)
- ◆入館料／一般500円[400円]・学生300円(高校生以上)
※ []内は20名様以上の団体料金

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
[TEL] 059-227-5677 [FAX] 059-213-5789
<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

The 40th anniversary of SEKISUI MUSEUM



石水博物館
40周年記念



古伊賀水指 銘「鬼の首」 桃山時代
(三重県指定文化財)



井戸茶碗 銘「紅葉山」 朝鮮王朝時代



老人図扇面 写楽筆 江戸時代



港の女たち ビエール・ボナール 1921年

所蔵名品展II 川喜田家コレクション編I

石水博物館は川喜田半泥子(1878~1963)が昭和5年(1930)に創設した「財団法人石水会館」を母体としています。昭和47年(1972)に川喜田家より収蔵資料約3万点と「千歳文庫」の寄贈を受け、翌48年(1973)から博物館活動を開始、昭和50年(1975)12月に、三重県教育委員会の博物館登録原簿に登録されました。以来平成22年(2010)までの35年間は津市丸之内の旧津丸の内ビルで、翌23年(2011)からは津市垂水の千歳山で、地域に根差した展覧会を開催してきました。おかげさまで本年は、登録博物館として40周年を迎えます。

本展はこれを記念する展覧会の第2弾です。江戸時代初期から木綿問屋を営んでいた川喜田家の歴代当主が、様々な文化活動の中で蒐集してきた美術品や歴史資料の中から選りすぐりの名品を紹介します。



近江名所図屏風 曾我蕭白筆 江戸時代

※すべて石水博物館蔵

ギャラリートーク

●日 時:7月26日(日)、8月12日(水)
14時から30分程度

担当学芸員が展覧会をご案内します。

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。
※参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

同時開催 (第2展示室)

所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

次回展覧会

企画展《伊勢商人 竹川竹斎—近代日本の先駆者—》
会期:2015年8月28日(金)~10月18日(日)

展示替休館

2015年8月24日(月)~27日(木)



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて15分、「青谷口」下車徒歩8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて10分、「青谷口」下車徒歩8分
- JR阿漕駅より徒歩12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(角に緑の看板あり)を左折、約300m先左側。(駐車場15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

TEL) 059-227-5677 [FAX] 059-213-5789

<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

第1展示室

石水博物館40周年記念 所蔵名品展Ⅱ—川喜田家コレクション編— 2015年7月17日(金)～8月23日(日)

出品目録

番号	作品名	作者・員数など	材質・年代など	指定
1	蕎麦茶碗 銘「春紅」		朝鮮王朝時代	
2	井戸脇茶碗		朝鮮王朝時代	
3	雨漏堅手茶碗 銘「富士」		朝鮮王朝時代	
4	御本茶碗		朝鮮王朝時代	
5	赤茶碗 銘「栗鼠」	長次郎作	桃山時代	
6	古萩茶碗 銘「荷葉」		江戸時代	
7	黒織部茶碗 銘「暫」		江戸時代	
8	赤楽茶碗 銘「松韻」	伝本阿弥光悦作	江戸時代	
9	狩野永徳書状	寿謙宛	紙本墨書・桃山時代	重美
10	富士山図	曾我蕭白筆	紙本墨画・江戸時代	
11	洛中洛外図屏風	六曲一双	紙本金地着色・江戸時代	
12	元禄美人図(三味線図)	下村観山筆・二曲一隻	紙本金地着色・明治32年	
13	老人図扇面	写楽筆	紙本着色・江戸時代	
14	竹一重切花入 銘「音曲」	伝千利休作	桃山時代	
15	井戸茶碗 銘「紅葉山」		朝鮮王朝時代	
16	竹一重切花入 銘「大黒」	藤村庸軒作	江戸時代・延宝4年	
17	古伊賀水指 銘「鬼の首」		桃山時代	県
18	近江名所図屏風	曾我蕭白筆・六曲一隻	紙本墨画・江戸時代	
19	佐藤文書	七巻五八通のうち	南北朝～桃山時代	重文★
20	昆布漁図扇面	松浦武四郎筆	紙本墨画淡彩・明治5年	
21	自筆稿本『近世蝦夷人物誌』	松浦武四郎著・初編三冊	安政5年成立	
22	瀬戸芋子茶入		桃山時代	
23	織部IHS茶入		桃山時代	
24	鯉蒔絵茶杓 銘「龍門」	藤村庸軒作・初代中村宗哲塗	元禄7年	
25	竹茶杓	小堀遠州作	江戸時代	
26	つぼつぼ大棗	三代中村宗哲作	江戸時代	
27	栗蒔絵中棗	遠坂宗仙作	江戸時代	
28	赤楽一閑人蓋置	左入作	江戸時代	
29	染付呼継火入	了入作・二口	江戸時代	
30	三猿図大皿	バーナード・リーチ作	1920年	
31	染付柘榴模様台鉢	富本憲吉作	大正8年	
32	桜の美人	藤島武二	カンヴァス油彩・明治25～26年頃	
33	港の女たち	ピエール・ボナール	カンヴァス油彩・1921年	

※指定：重文＝国重要文化財、重美＝国重要美術品、県＝三重県指定文化財

★佐藤文書は58通のうち、57通が重要文化財です。

第2展示室

所蔵品展—川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品— 2015年7月17日(金)～8月23日(日)

出品目録

番号	作品名	作者など	窯・素材・年代など	備考
1	志野茶碗 銘「蛾眉峯」	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和13年頃	寄託作品
2	黒織部茶碗 銘「富貴」	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和15年頃	寄託作品
3	井戸手茶碗 銘「おぼろ」	川喜田半泥子	廣永窯・昭和24年頃	
4	井戸手茶碗 銘「雨後夕陽」	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和16年頃	
5	粉引茶碗 銘「雪の曙」	川喜田半泥子	千歳山窯	
6	織部黒茶碗 銘「暗香」	川喜田半泥子	千歳山窯	藤田コ
7	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	川喜田半泥子	廣永窯	
8	白掛茶碗 銘「天の川」	川喜田半泥子	廣永窯	
9	刷毛目茶碗 銘「土用波」	川喜田半泥子	廣永窯	
10	唐津手茶碗 銘「薄氷」	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和16年	
11	浜木綿図	川喜田半泥子筆・自賛	絹本淡彩	
12	半泥子と茶碗図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩	寄託作品
13	花瓶図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩	藤田コ
14	蓮の葉仏図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画	藤田コ
15	粉引手茶碗 銘「夕立」	川喜田半泥子	千歳山窯	
16	井戸手茶碗 銘「ひばり」	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和16年	
17	黒茶碗 銘「三保の夜」	川喜田半泥子	千歳山窯	
18	志野茶碗 銘「不動」	川喜田半泥子	千歳山窯	
19	粉引手茶碗 銘「きもやきむすこ」	川喜田半泥子	千歳山窯	藤田コ
20	灰釉茶碗 銘「やせ男」	川喜田半泥子	廣永窯	藤田コ
21	片身替茶碗 銘「寝物語」	川喜田半泥子	千歳山窯	
22	焼締茶碗 銘「しほ釜」	川喜田半泥子	千歳山窯	
23	呼継茶碗 銘「いざよい」	川喜田半泥子	千歳山窯	
24	呼継茶碗 銘「ねこなんちゅ」	川喜田半泥子	千歳山窯	
25	灰釉茶碗 銘「ぼたもち」	川喜田半泥子	千歳山窯	寄託作品
26	絵唐津手茶碗 銘「あひるの子」	川喜田半泥子	廣永窯	寄託作品
27	刷毛目茶碗 銘「一声」	川喜田半泥子	廣永窯	
28	井戸形茶碗 銘「半泥子」	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和16年頃	
29	灰釉縮れ水指	川喜田半泥子	千歳山窯	寄託作品
30	伊賀水指	川喜田半泥子	千歳山窯	
31	傘図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩	
32	伊勢の海図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩	
33	果物鉢図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和23年	
34	黄瀬戸牡丹絵鉢	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和11年	
35	伊賀水指 銘「慾袋」	川喜田半泥子	千歳山窯・昭和15年	

山里茶席内

	作品名	時代・作者	窯・材質など	備考
36	太忙生水流澗下	金陵好清筆	紙本墨書	
37	竹尺八掛花入 銘「みのむし」	川喜田半泥子	竹	
38	瀬戸水指	川喜田半泥子	千歳山窯	藤田コ

※藤田コ＝平成23年に寄贈された藤田等風コレクション
 ※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。